

令和6年度気候変動適応地域づくり推進事業北海道地域業務の概要

1 業務概要

項目	回数	目的など	運営の方向性
気候変動適応北海道広域協議会 設営・運営	2回の会議	北海道気候変動適応推進会との共催	<基本的に昨年度を踏襲> ・情報提供、会議運営の効率化のために共同開催に変更
北海道適応策推進チーム 運営	3回の会議	啓発活動及びフォローアップ事業のための助言を求める	<基本的に昨年度を踏襲> ・普及啓発活動及びフォローアップ事業のための情報収集 ・普及啓発活動等への協力を要請するなどの機会
気候変動適応の認知度向上に資する普及啓発活動	3回のセミナー等	適応策策定の自治体の増加を目指す	<効果が得られているため継続> 新規作成自治体 3 広域協議会新規参加 5
アクションプランの フォローアップ	2回のセミナー等	Eco-DRRに特化したフォローアップを目指す	<具体的な社会実装の方法例を提示> 現在のアクションプランは、現場の自治体職員にとって、社会実装しにくい状態になっているので、扱いやすい状態にするために行う ・自治体ができることヒントを提示する ・開発局にも参加を求め、広がりを探るなど
連絡会議及び気候変動適応全国大会への参加など	1回の会合	全国の動向を把握する	<基本的に昨年度を踏襲>

2. 昨年度からの主な変更点

- 気候変動適応北海道広域協議会設営・運営
 - 気候変動適応北海道広域協議会の開催形式
北海道気候変動適応推進会議（事務局：北海道）との共催（同日開催）。
 - 気候変動適応北海道広域協議会の参加自治体
 <継続>北海道、札幌市、函館市、帯広市、釧路市、苫小牧市、鶴居村、留寿都村
 <新規>北見市、富良野市、石狩市、旭川市、千歳市
- アクションプランのフォローアップ
 - 実施内容
 - ◇ 北海道開発局等の協力のもと、生態系を活用した防災・減災が実装（機能）している場所の現地視察（意見交換会含む）を2回実施（資料5）。
 - ◇ アクションプラン（釧路湿原等のEco-DRR機能の保全）の社会実装を目的として、Eco-DRRの普及・実装に向けたコンセプトブック（仮）を作成。
- 気候変動適応全国大会への参加等
 - 香川県で3月下旬に開催（オンラインでの参加予定）。

3 業務のスケジュール（案）

項目	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
(1) 広域協議会運営																		
アドバイザー選定・委嘱		■																
R06第1回準備・開催					■													
R06第2回準備・開催														■				
(2) 推進T設営・運営																		
構成員・アドバイザー選定・委嘱		■																
R06第1回準備・開催			■															
R06第2回準備・開催							■											
R06第3回準備・開催												■						
(3) 普及啓発活動																		
方針検討		■	■	■	■													
対象自治体選定			■	■	■													
勉強会準備・開催（3回）							■	■	■									
(4) 広域APフォローアップ																		
方針検討		■	■	■	■													
現地視察準備・開催							■	■	■									
勉強会準備・開催										■	■	■						
広域AP改善提案										■	■	■						
(5) 全国大会参加等																		■
(6) 報告書作成																	■	■

以上